



第2号様式（表面）（別添4の4 J. 関係）

第 平成 年 月 日

東邦車輛株式会社 殿

改造概要等説明書(改造自動車審査結果通知書)

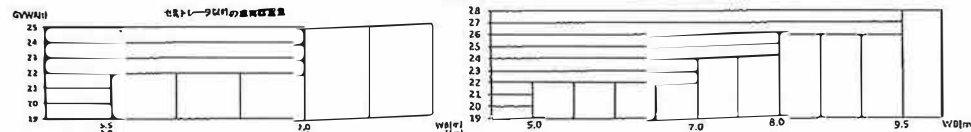
[指示事項]

主要諸元比較表

標準車輛の類別等を記載する。(0631)

項目	標準車	改造車	基準・限度	項目	標準車	改造車	基準・限度
車名	東邦	←		乗車定員人	—	—	
型式	TF50H4C3	←		最大積載量 kg	41100	25100[39100]	
自動車の種別	普通	←		前前軸重	15810	114 80[16275]	— (19700 kg)
用途	貨物	←		後前軸重	11370	8170[11235]	≤10t (13080 kg)
車体の形状	セミトレー	←		後中軸重	11370	8170[11240]	≤10t (13080 kg)
燃料の種類	—	—		後後軸重	11370	8170[11240]	≤10t (13080 kg)
原動機型式	—	—		計	49920	35990[49990]	≤36t (57660 kg)
燃料消費量(L)又は燃料出力(kW)	—	—		最大安定傾斜角度°	左 49 右 49	※ 47 ※ 47	一般 ≥35° その他 ≥30°
長さ m	12.140 (11.600)	13.345 (11.900)	≤13m	前前軸	—	—	
幅 m	2.490	←	≤2.6m	後前軸	12R22.5 -16PR	275/70R22.5 148/145J	(11600 kg)
高さ m	1.630	3.230	≤3.8m	後中軸	12R22.5 -16PR	275/70R22.5 148/145J	(11600 kg)
軸距 m	7.150+1.300 +1.300 =9.750	←		後後軸	12R22.5 -16PR	275/70R22.5 14 8/14 5J	(11600 kg)
輪距 m	前前輪 — 後前輪 1.850 後中輪 1.850 後後輪 1.850	← ← ← ←		前輪荷重	空車 —	—	≥18、20%
室内又は荷台の内幅 m	長さ 12.000 幅 2.470	12.500 2.400		制 合	積車 —	—	≤ 1/2 (4.875 m)
側面の寸法	高さ 0.470	←		リヤ・オーバーハング m	1.850	2.095	
車両重量 kg	前前軸重 1950 後前軸重 2290 後中軸重 2290 後後軸重 2290	2880 2670 2670 2670		荷台オフセット m	2.850	2.895	
計	8820	10890		最小回転半径 m	—	※ 10.5	≤12m

車両総重量・軸重等の基準



隣接軸距	1.8m未満	1.0m以上	1.3m以上1.8m未満(1の車輛にかかる荷重が9.5t以下である場合)
隣接軸重	22480kg ≤ 18 t	kg ≤ 20 t	kg ≤ 19 t

制動能力	踏力-N 60km/h 4.50 m/s ²	車軸強度	×
推進軸	回転数 — 強度 —	操縦装置強度	×
車枠強度	×	緩衝装置強度	×
	×	制動装置強度	×
	×	連結装置強度	×

- 注1. 能力検討欄は、該当しないものは「—」、省略したものは「×」を記入すること。
注2. 指示事項欄又は能力強度等検討書欄は、必要に応じて指示欄又は項目を追加・削除することができる。
注3. 現車審査の際は、通知書及び改造部分詳細図等の添付資料を提示すること。(9. (1)関係)
注4. ※印は 三菱 QKG-FV60VJR型トラックと連結時の計算値を示す。
注5. []内の数値は基準値和使用時の数値を示す。

R018532

第2号様式（裏面）（別添4の4 J. 関係）

改造等の概要

目的	当該車両は、東邦TF50H4C3型セミトレー(29国自審第422号新16884号類別0631)を貨物の安全輸送をはかる為に変更する。(編型(固縛あり))
車枠及び車体	
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	
操縦装置	
制動装置	
緩衝装置	
連結装置	
燃料装置	
電気装置	

- 注1. 変更のない事項については、斜線を記入又は網掛けを施すこと。
注2. 届出者は、自動車の点検及び整備に関する情報の提供並びにリコール届出に関する責務があります。なお、リコール届出に関しては、その実施について道路運送車両法(昭和26年6月1日法律第185号)に基づく勧告、命令を受ける場合があります。(第57条の2、第63条の2、第63条の3関係)